おきるとはいり

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- 約5.100年前の縄文土器を展示
- 新外国語指導助手来町
- ・第3回子ども教育委員会
- 7月定例教育委員会報告
- ・ 平成29年度児童生徒芸術等鑑 賞会のお知らせ
- 文化祭作品募集
- ・図書室だより
- 放課後子ども教室活動紹介

約5,100年前の縄文の美

青少年センターホール展示

7月27日から青少年センター入口ホールで、幌内地区厚幌ダム建設事業に伴うショロマ1遺跡の発掘調査で出土した縄文土器を展示しています。

展示している土器は、大きな竪穴式住居跡の生活していた 床面から横倒しとなった状態で見つかりました。今から約 5,100年前の縄文時代前期の終わりごろに本州の青森県から 北海道の函館・室蘭方面にかけて作られた「円筒土器下層d 2式」です。底から口まで完全な形に復元できたものとしては、 北海道内において最も東に位置しています。

巨大集落で有名な青森県三内丸山遺跡でも同じ土器が見つかっています。このことは、当時の文化交流を探るうえでも重要な意味をもっています。また形や文様も優れた美術的作品としても見応えがありますので、ぜひご覧ください。



縄文土器の出土状態



展示されている縄文土器

外国語指導助手 エリッサ・ドイルさん来町

本町のALT (外国語指導助手)のエレン・マリアノさんの後任として、エリッサ・ドイルさんが来町しました。エリッサさんは、カナダ・トロント出身です。

厚真町の皆さん、こんにちは。私の名前はエリッサです。私はカナダのトロント出身です。今回初めて日本に来ました。私は山や自然が好きなので、北海道での生活をとても楽しみにしています。私の好きなスポーツはスキーで、今から冬が楽しみです。皆さんの歓迎に感謝します。これから皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

※エリッサさんと英語を学ぶ英会話教室を開講します。詳細は3Pです!

